

## 2025 年6月 ITU-R WP1B 会合報告書(案)

【会合名称】ITU-R WP1B 会合(周波数管理手法に関する作業部会)

【会 期】2025 年 6 月 11 日(水)ー18 日(水)\*

【開催場所】ITU 本部 /Virtual meeting (Zoom)によるハイブリッド会合

【概 要】

本会合は、今研究会期における第 3 回会合である。ジュネーブ ITU 本部での対面会合と、Zoom プラットフォームを用いたオンライン会合とのハイブリッド形式で行われた。本会合には、45 の主管庁、2 の認定された運営機関、7 の科学又は産業組織、1 の電気通信に関わるその他の組織、1 の地域及びその他の機関、1 のアソシエイト、1 の学術機関及び ITU などから計 188 名が参加した。日本からの出席者は表 1 のとおり。

表 1 日本からの出席者(敬称略・順不同)

氏名	所属
1 青野 海豊	総務省 国際周波数政策室
2 絹笠 皓樹	総務省 国際周波数政策室
3 柴田 由里	総務省 放送技術課
4 佐伯 吉章	総務省 放送技術課
5 久保田 文人	テレコムエンジニアリングセンター
6 川上 陸	ワシントンコア
7 官澤 彩	ワシントンコア
8 正路 佳代子	ワシントンコア
9 巽 佳奈子	ワシントンコア
10 森 圭子	ワシントンコア

日本、中国、米国、韓国等からの提案や他グループからのリエゾン文書等、計合計 31 件(うち前回会合 2 件)の入力文書が検討され、15 件の出力文書が作成された(4 文書一覧参照)。これらの出力文書のうち、WG1B-2 から以下の 1 件が SG1 に上程された。

- ITU-R 報告 SM.2012-6(周波数管理における経済的側面)改訂案(TEMP/28)

WP1B 会合の構成は表 2 のとおり。なお、今次会合においては、WP1B 副議長として Il-Kyoo LEE 氏(韓国)及び Tatiana SUKHODOLSKAIA 氏(ロシア)が就任した。

\* 予定よりも1日早く6月 17 日にすべての審議を終了した。

表 2 WP1B 会合の構成と各グループの担当議題

WP/WG/DG	検討案件	議長
WP1B 議長		Bin LIU 氏(中国)
WP1B 副議長(今次会合において選任)		Il-Kyoo LEE 氏(韓国) Tatiana SUKHODOLSKAIA 氏(ロシア)
WG1B-1	ショートレンジデバイス(SRD)及び WRC-27 議題などの関連事項	Fatih Mehmet YURDAL 氏(トルコ)
WG1B-2	周波数管理の経済的側面及びその他の課題	Tatiana SUKHODOLSKAIA 氏(ロシア)
DG1B-2a 議長	ITU-R 報告 SM.2012-6(周波数管理における経済的側面)	Tatiana SUKHODOLSKAIA 氏(ロシア)(兼任)
DG21B-2b 議長	ITU-R 新報告草案 SM. [Spec-AVAILABILITY] (周波数の可用性の評価又は予測手法)	Il-Kyoo LEE 氏(韓国)

今次会合において、日本が提出した入力文書の結果概要は表 3 のとおり。

表 3 日本提出入力文書の議論の結果概要

文書番号 1B/	件名	審議結果	出力文書 TEMP/
73	ITU-R 報告 SM.2353-0(UHF 帯のアナログテレビから地上デジタルテレビへの移行から生じる周波数管理の課題と機会)改訂草案	日本提案を作業文書に反映した上で改訂草案に格上げし、次回に持ち越し	33

## 1 WP1B プレナリ

### 1.1 WP1B プレナリで扱われた文書の審議

入力文書:1B/48(WP1B 議長報告)、1B/54(ITU-T SG20)、1B/56(WMO)、1B/66(BR 局長)、1B/72 Rev.1 (WP5B)

出力文書:なし

BR 局長からの、RAG-32 の結果概要である回章 CA/277 の共有と各 WG からの WP への作業報告を求めるリエゾン文書(1B/66)については議長から各 WG に対し、文書で推奨されているように各 WG の閉会後に報告を出すよう要請があった。本要請を受けて WG1B-1 からの報告(TEMP/29 Rev.1)、WG1B-2 からの報告(TEMP/35)が作成され、WP1B の最終プレナリで承認された。また、前回会合の WP1B 議長報告(1B/48)に加えて、以下のリエゾン文書が情報として了知された。

表 4 WP1B プレナリで了知されたりエゾン文書

文書番号 1B/	提出元	概要
54	ITU-T SG20	IoT、スマートシティ及びコミュニティに関する調整活動に関する ToR 改訂提案についての共有
56	WMO	各 WRC-27 議題に関する暫定ポジションに関する共有
72 Rev.1	WP5B	ITU-R 勧告 SM337 の on-tune rejection (OTR)に関する質問

また、開会時に WP1B の副議長が不在であることが周知され、候補者が募られた。これに対して、Il-Kyoo LEE 氏(韓国)及び Tatiana SUKHODOLSKAIA 氏(ロシア)が立候補し、WP1B の最終プレナリで承認された。

## 2 WG1B-1:ショートレンジデバイス(SRD)及び WRC-27 議題などの関連事項

### 2.1 ショートレンジデバイス(SRD)

---

#### 2.1.1 ITU-R勧告SM.1896-1(SRDの世界的・地域的調和のための周波数範囲)改訂草案

入力文書:1B/48(WP1B 議長報告 Annex 3)、1B/52(WP5A)

出力文書:1B/TEMP/23

前々回会合において、ITU-R 勧告 SM.1896-1 に、免許不要で使用可能な車外及び車内の車載レーダー用として、122.25-130GHz 帯及び 134-148.5GHz 帯を含めることが提案された。検討の結果、後述の ITU-R 報告 SM.2153-9(SRD の技術・運用特性及び周波数使用)と併せてこれらの技術を所掌する WP5A と WP5B に作業内容の通知とその見解を求めるリエゾン文書を発出していた。これに対し WP5A からの返答リエゾン文書(1B/52)を受領し、以下の点が連絡された。

- WP5A と WP5B で行っている作業との重複はないこと
- WP5A は ITU-R 勧告 M.2057 (ITS システム用途向け周波数帯域 76-81GHz で動作する車載レーダーのシステム特性)を改訂中で、車載レーダー用の周波数帯域 136-148.5GHz を無線標定業務の用途として追加する予定であること
- 当該周波数帯には、移動業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務が分配されており保護が必要であること

この返答を踏まえてオランダから WP5A や WP5B で検討されている 136GHz 以上の周波数帯域については記述を削除することが提案され、Annex 2 にある周波数範囲毎の地域別利用可能状況の表にある 134-148.5GHz の記載を、134-136GHz にすることで合意した。同じく Annex 2 にある 116-260GHz に関する記載を削除する案も検討され、オフラインでの審議の結果、削除することで合意した。また、周波数帯域のうち第二地域や第三地域では現状使われていないとする表記があるが、今後変更があり入力文書を受けて修正する可能性を加味し、これについては角括弧を付けることとした。これらの審議を経て、文書ステータスを改訂草案に格上げし、次回会合に持ち越すことで合意した(TEMP/23)。

## 2.1.2 ITU-R報告SM.2153-9(SRDの技術・運用特性及び周波数使用)改訂草案

入力文書:1B/48(WP1B 議長報告 Annex 4)、1B/52(WP5A)

出力文書:1B/TEMP/24

本文書は前述の ITU-R 勧告 SM.1896-1 と同様に SRD を扱う文書であり、前々回会合にてWP5A宛てのリエゾン文書を発出していた。返答リエゾン文書を受領した(2.1.1 章参照)。この返答を踏まえて前述の ITU-R 勧告 SM.1896-1 に加えた変更と同様の修正を加え、文書ステータスを改訂草案に格上げし、次回会合に持ち越すことで合意した(TEMP/24)。

## 2.1.3 その他

入力文書:1B/62(ITU-D SG2)

出力文書:なし

ITU-D SG2 研究課題 2/2(e-ヘルスや e-エデュケーションを含む e-サービスやアプリケーションの実現技術)から、SG2 会合にて最終報告書が承認されたことを連絡し、2026 年から新たな検討を行う旨共有するリエゾン文書(1B/62)が紹介され、情報として了知した。

## 2.2 ITU-R新報告草案 SM.地中及び壁面レーダー(GPR/WPR)

---

入力文書:1B/48(WP1B 議長報告 Annex 5)、1B/71(韓国)

出力文書:1B/TEMP/26

前回会合の WP1B 議長報告に添付された ITU-R 新報告草案 SM.地中及び壁面レーダー(GPR/WPR)に向けた作業文書を更新する韓国の入力文書(1B/71)を検討した。WG1B-1 議長から、追加が提案されている 3 章 3 項の Equipment certification にある認証制度は国内問題であり、ITU が扱う範囲を超えているとの指摘があった。これに対し、韓国からは、特定の国の事例ではなく、一般的な認証制度に関する情報であり、追加の情報があれば歓迎するとの意見があった。また、中国からは認証制度は国内問題ではあるものの、他システムに干渉を与えない基準作りという観点から、盛り込む価値があるとの意向が示された。オランダは CG にて 2 年間、議論が前進していない状況であることを強調し、本会合にて文章ステータスを格上げすることを提案した。これらの議論を経て、韓国からの 3 章 3 項の記述は詳細さに欠けるとの指摘を受けて合意に至っていないことを示した上で、オランダの提案に従い文書ステータスを新報告草案に格上げし、次回会合に持ち越すことで合意した(TEMP/26)。

## 2.3 UWBの略語登録に関する返答リエゾン文書

---

入力文書:1B/53(CCT)、1B/55(ITU-T SG11)、1B/77(WP1A)

出力文書:1B/TEMP/21 Rev.1、25 Rev.1

UWB を Abbreviation データベースに登録した旨の通知と、定義についての回答を求めている CCT からの返答リエゾン文書(1B/53)を検討した。オランダが、ITU-R 勧告 SM.1755-0 に記載されている UWB の定義を共有することを提案し、合意した。定義において UWB「Technology」の部分はどうかと米国から問題提起があったが、UWB は周波数の広さ(Bandwidth)ではなく特定の技術(Technology)を指すため、定義に含めた方がよいとのオランダの意見にて合意した。UWB に関連する研究課題を扱っている WP1A に、定義についての見解を求めるノート(TEMP/25 Rev.1)を発出し、了承を得たため(1B/77)、UWB Technology の定義について情報を共有する返答リエゾン文書

(TEMP/21 Rev.1)を CCT に発出することで合意した。また、本返答リエゾン文書は、UWB の利用に関連する ITU-T SG11, 17, 20 にもコピーを送り、UWB の定義を検討した WP1A には情報共有という形で送ることで合意した。

ITU-T SG11 からの、UWB の利用に際して一貫性をもたせるべく検討中とする情報共有のリエゾン文書(1B/55)については、情報として了知した。

## 2.4 ENG(電子的ニュース取材)

---

入力文書:1B/51(WP5A)、5A/TEMP/82 Rev.1

出力文書:1B/TEMP/27

WP5A が取り組む Electric News Gathering(電子的ニュース取材)に関して情報を募るリエゾン文書(1B/51)を検討するにあたり、カウンセラからの助言を受け、SharePoint に共有された、作業中の陸上移動サービスにおけるアプリケーションとしてのオーディオ PMSE の地域的及び世界的な使用状況の概要に関する新報告(5A/TEMP/82 Rev.1)を確認した。米国からショートレンジデバイスに言及する箇所があったため、SRD を冒頭の略語リストに載せる必要があることと、関連する研究(ITU-R 報告 SM.2153-9:SRD の技術・運用特性及び周波数使用)を参照することもできる旨を連絡する提案があり、返答リエゾン文書(TEMP/27)を WP5A に発出することで合意した。

## 2.5 WRC-27議題関連(CPMテキスト準備に関する連絡)

---

入力文書:1B/58(WP4C)

出力文書:なし

WRC-27 議題 1.5 に関する WP4A 及び WP4C 間の協力のための行動指針に関する提案文書(4C/268、4A/375)を作成していることを連絡する WP4C からのリエゾン文書(1B/58)が了知された。

## 3 WG1B-2:周波数管理の経済的側面及びその他

### 3.1 周波数管理の経済的側面

---

入力文書:1B/35<sup>†</sup>(ITU-T SG3)、48(WP1B 議長報告 Annex 1 Rev.1)、49(ITU-D SG1 Q.4)、57(ITU-T SG3)、63 (中国)、65 (中国)、68(米国)

出力文書:1B/TEMP/28、31、32

#### 3.1.1 ITU-R報告SM.2012-6(周波数管理の経済的アプローチ)改訂案

ITU-R 報告 SM.2012-6 周波数管理における経済的側面改訂草案について、ドラフティンググループ(DG)1B-2aを設置して審議することで合意した(DG議長はWG1B-2議長が兼務)。中国が提案した文書タイトルを Economic aspects of spectrum management(周波数管理における経済的側面)から Economic approaches to spectrum management(周波数管理の経済的アプローチ)に変更する等の修正案(1B/63)を反映することで合意した。また、ITU-R 勧告及び報告のバージョン番号について、版数を更新すべきか、版数の記載そのものを削除し一般的な書きぶりとするかの考え方について議論が紛糾したが、最終的に、現行のテキストで版数が示されているものはそのまま残し、それ以外はバージョン番号を付さない一般的な参照形式に留めることで合意した。また、次回会合以降で巻末に30ページに及ぶ2か国(UAE及びコートジボワール)の法規文書テキストが記載されていることから、これをハイパーリンクへ置き換える方向で、将来的に検討を進めることが提案された。これらの審議を経て、改訂草案を改訂案に格上げし、SG1に上程することで合意した(TEMP/28)。

#### 3.1.2 ITU-Tとの作業範囲の重複(衛星分野)に関するリエゾン文書

経済的側面に関連したテーマとして、ITU-T SG3 から発出された衛星事業者による高速インターネット接続提供に関する経済面及び政策面での新勧告作成にあたり新しい作業項目を設定したことの通知と、WP1Bに協力を呼びかけるリエゾン文書(1B/35)及びITU-T SG3 から発出された衛星インターネット接続サービスの提供に向けたコストモデルについての新規作業項目追加の暫定承認に関するリエゾン文書(1B/57)、並びに本件に関するRAGの判断を元に米国が作成したITU-T SG3宛ての返答リエゾン案(1B/68)について検討した。ITU-RとITU-Tの作業範囲の重複について確認するためさらに情報提供を求める返答リエゾン文書案(TEMP/32)を作成し、WP1Bプレナリに上程した。WP1Bプレナリでは、返答リエゾン文書としてITU-T SG3へ発出することで合意した。

#### 3.1.3 ITU-D SG1へのリエゾン文書

ITU-D SG1 研究課題 4/1 から発出された情報格差解消への投資取り組み及び周波数オークションに関する情報提供を行うリエゾン文書(1B/49)及び今会合でWP1BがITU-R報告SM.2012改訂作業を継続することから、中国が作成した返答リエゾン案(1B/65)についても検討し、エディトリアルな修正を経て返答リエゾン文書案(TEMP/31)を作成し、WP1Bプレナリに上程した。WP1Bプレナリでは、返答リエゾン文書としてITU-D SG1へ発出することで合意した。

---

<sup>†</sup> 前会期から持ち越された文書(以下同様)。

### 3.2 ITU-R新報告草案SM. [Spec-AVAILABILITY] (周波数の可用性の評価又は予測手法)

---

入力文書:1B/48(WP1B 議長報告 Annex 2)、64 (中国)、67 (ブラジル)、69 (韓国)、74 (インドネシア)、75 (インド)

出力文書:1B/TEMP/22 Rev.1

ITU-R 研究課題 241/1 に基づき研究を進めてきた ITU-R 新報告草案 SM. [Spec-AVAILABILITY](周波数の可用性に関する評価又は予測手法)についてドラフティンググループ(DG)1B-2b を設置して審議することで合意し(DG 議長は Il-Kyoo LEE 氏(韓国))、各国からの以下の提案が統合された。

- 中国から、最新のケーススタディを追加する提案 (1B/64)
- ブラジルから、自国の事例を記載している Annex 4 に「潜在的に利用できないスペース (地理的空間等) を特定する計算方法」及び韓国の事例についてまとめた Annex 1 で提示されている評価方法とブラジルの事例を関連づけるため、方程式 (E-3) 及び (E-4) に変数を代入する提案 (1B/67)
- 韓国から、前回会合で、定義や意図が曖昧なまま使われている用語や表現が多くあるという参加国からの指摘を踏まえ、本文の Section 2 (評価基準) に用語の定義を追加、Section 3 (方法論及び必要な情報) に要約、Annex 1 に記載されている韓国の事例紹介を簡潔に修正する提案ならびに同 Annex 1 の Section 4 (周波数の可用性を向上させる技術的アプローチ) では中国の事例との重複部分を削除する提案 (1B/69)
- インドネシアから、周波数の可用性を向上させるための周波数グリッドに関する事例の修正提案 (1B/74)
- インドから、1 章 (はじめに) に用語 (Spectrum Assessment 及び Spectrum Availability) に関する概念を追加する提案 (1B/75)

これらの寄与文書をもとに各国事例を Annex に統合した文書を検討した。用語の定義については本文と Annex 1 (韓国の事例) の両方に同様の記載があったため、最終的にインドからの提案を受け作成した本文の 2 章 2.1 項の用語定義を採用することで合意した。また、本件について関連 WP にリエゾン文書を発出するかどうかが議論されたが、適切な送付先について意見が出なかったことから、発出は見送られた。

今回、文書の完成度が高まったことから新報告案への格上げが検討されたが、中国が新しい情報量が多く次会合へ持ち越すことを希望したため、文書の格上げは見送り、草案のまま次回会合に持ち越すことで合意した(TEMP/22 Rev.1)。

### 3.3 ITU-R報告SM.2353-0(UHF帯のアナログテレビから地上デジタルテレビへの移行から生じる周波数管理の課題と機会)改訂草案

---

入力文書:1B/59(シエラレオネ)、60(ITU-D SG1)、73(日本)

出力文書:1B/TEMP/33

ITU-R 報告 SM.2353-0(UHF 帯のアナログテレビから地上デジタルテレビへの移行から生じる周波数管理の課題と機会)について、前回会合の editor's note「日本の 710-770MHz における周波数配置の詳細情報を次回会合に提出する」を踏まえ、2.1.3 項(第三地域におけるデジタル・ディビデンドの定義事例)に、日本における 710-770MHz の具体的な周波数配置図を追加する寄与文書(1B/73)を提出した。本件は、シエラレオネからのアナログ放送からデジタル放送への移行について周波数利用効率の向上にむけた事例紹介(1B/59)と合わせて、メールによるオフライン審議を実施することで合意した。日本が取り纏め役となり

統合版文書を作成し、WG での審議を経て修正を重ね、日本からの提案を反映させた上で、作業文書を改訂草案に格上げし、次回会合へ持ち越すことで合意した(TEMP/33)。

なお、2022-2025 年の研究会期を終えた ITU-D SG1 研究課題 2/1 ラポーターグループから発出された最終報告書の成果を共有するリエゾン文書(1B/60)の検討については次回会合に持ち越しとなった。

### 3.4 新研究課題(周波数使用モデルや新しい無線通信システムを導入する際の基準や方法論等)に関する提案

---

入力文書:1B/41†(韓国)、70(韓国)

出力文書:1B/TEMP/30、34

前回会合に提出された周波数使用モデルや新しい無線通信システムを導入する際の基準や方法論等に関する韓国の提案(1B/41)は、既存の研究課題 ITU-R 208/1 との重複が見られるという複数の参加国からの指摘を受け、今回の会合に持ち越されてきた。この経緯を受け、同国から、同研究課題の alternative methods of national spectrum management(国家による周波数管理の代替方法)を実施するため、韓国の事例として Attachment 1(韓国における周波数共用手法)、Attachment 2(周波数管理手法)を概要とする新報告作成を提案する文書を新たに寄与文書(1B/70)が提出された。ロシアから新提案とするには大半が周波数共用に関する内容であるとの指摘や、米国からは、Attachment 1 が IMT に特化しており WP5D の所掌の範囲ではないかとする意見が出されたことから、韓国が取り纏め役となり、メールによるオフライン審議が進められた。WG1B-2 での審議を経て、韓国が提案していた新報告の作成ではなく、ITU-R 報告 SM.2404(周波数共用を支援する規制ツール)改訂草案に向けた作業文書(TEMP/34)とすることで合意し、韓国からの提案を Annex 3(プライベートネットワークのための周波数共用における韓国の事例)に統合した文書を次回会合に持ち越すことで合意した。

また、本件に関する作業開始を通知するため、WP5D 宛てのリエゾン文書案(TEMP/30)を作成し、リエゾン文書として ITU-R WP5D へ発出することで合意した。

### 3.5 その他 情報として了知した文書等

---

#### 3.5.1 ITU-D SG1からの研究課題3/1に関するリエゾン文書

入力文書:1B/50 (ITU-D-SG 1-Q3/1)、61 (ITU-D-SG 1-Q3/1)

出力文書:なし

ITU-D SG1 が最終報告を作成したことを通知するリエゾン文書(1B/50)及び ITU-D SG1 の新研究会期が 2026 年に開始され、2025 年 11 月の会合で新研究課題の構成について決定される予定であることを周知するリエゾン文書(1B/61)は、WP1B から返答すべき内容はないとして、情報として了知された。

#### 3.5.2 WP1Bに割り当てられたITU-R研究課題、勧告、報告などの文書の確認

入力文書:1/1(SG1 議長)

出力文書:なし

本件に関する新たな寄与文書は提出されていない旨説明され、情報として了知された。



## 4 文書一覧

### 4.1 入力文書

文書 番号	提出元	表題	担当 WG	出力文書 1B/ TEMP
35†	ITU-T SG3	Liaison statement on creation of new work item on economic and policy aspects of the provision of high-speed Internet connectivity by retail satellite operators	1B-2	32
41†	Korea (Rep. of)	Proposed draft new ITU-R Question - Guidance on the use of radio spectrum for new radio systems in the presence of incumbents	1B-2	34
48	Chair, WP 1B	Report on the second 2023-2027 meeting of Working Party 1B (Geneva, 5-8 November 2024)	WP 1B	-
48 +Ann.1 Rev.1	Chair, WP1B	[48] Annex 1 Revision 1 - Preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2012-6 - Economic aspects of spectrum management	1B-2	28
48 +Ann.2	Chair, WP 1B	[48] Annex 2 - Preliminary draft new Report ITU-R SM.[SPEC-AVAILABILITY] - Methodologies for assessing or predicting spectrum availability	1B-2	22 Rev.1
48 +Ann.3	Chair, WP 1B	[48] Annex 3 - Working document towards a preliminary draft revisions of Recommendation ITU-R SM.1896-1 - Frequency ranges for global or regional harmonization of short-range devices	1B-1	23
48 +Ann.4	Chair, WP 1B	[48] Annex 4 - Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2153-9 - Technical and operating parameters and spectrum use for short range radiocommunication devices	1B-1	24
48 +Ann.5	Chair, WP 1B	[48] Annex 5 - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[GPR/WPR FREQ] - Spectrum management framework for the introduction of Ground- and Wall-Penetrating Radar (GPR/WPR) imaging systems	1B-1	26
48 +Ann.6	Chair, WP 1B	[48] Annex 6 - Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2353-0 - Challenges and opportunities for spectrum management resulting from the transition to digital terrestrial television in the UHF bands	1B-2	33
49	ITU-D SG1 Q4/1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 4/1 to ITU-R Working Party 1B on economic aspects of telecommunication/ICTs - ITU-D Study Group 1 Question 4/1: Economic aspects of national telecommunications/ICTs	1B-2	31
50	ITU-D SG1 Q3/1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 3/1 to ITU-T Study Groups, ITU-R Working Parties, APT ASTAP and ETSI - ITU-D Study Group 1 Question 3/1 - The use of telecommunications/ICTs for disaster risk reduction and management	1B-2	-
51	WP 5A	Liaison statement to Working Parties 1B, 5C and 6A - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[AUDIO-PMSE_LMS]	1B-1	27
52	WP 5A	Reply liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Party 5B) - Studies related to revision on Recommendation ITU-R SM.1896-1 and Report ITU-R SM.2153-9	1B-1	23, 24
53	CCT	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 1B and ITU-T Study Groups 11, 17 and 20 (copy to ITU-R Working Party 1A) - Addition of the UWB abbreviation to the ITU Terms and Definitions database and request to provide a definition for this term	1B-1	21 Rev.1, 25 Rev.1
54	ITU-T SG20	Liaison statement on revised title and Terms of Reference of Joint Coordination Activity on Internet of Things and Smart Cities and Communities (JCA-IoT and SC&C)	WP 1B	-
55	ITU-T SG11	Reply liaison statement on addition of UWB abbreviation to the ITU Terms and Definitions database	1B-1	-
56	WMO	Preliminary position on WRC-27 agenda - Preliminary WMO position on the World Radiocommunication Conference 2027 (WRC-27) agenda	WP 1B	-
57	ITU-T SG3	Liaison statement on the provisional approval of a new work item on cost models for provisioning satellite internet connectivity services	1B-2	32

文書 番号	提出元	表題	担当 WG	出力文書 1B/ TEMP
58	WP 4C	Liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Party 1B for information) - WRC-27 agenda item 1.5	1B-1	-
59	Sierra Leone	Proposal for enhancing spectrum utilization efficiency through analogue to digital migration	1B-2	33
60	ITU-D SG1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 2/1 to ITU-T Study Group 21 and ITU-R Study Group 1 on strategies, policies, regulations and methods of migration to and adoption of digital technologies for broadcasting, including to provide new services for various environments	1B-2	次回 持ち越し
61	ITU-D SG1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 3/1 to ITU-T Study Groups, ITU-R Working Parties, APT ASTAP and ETSI on use of telecommunications/ICTs for disaster risk reduction and management	1B-2	-
62	ITU-D SG2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 2/2 to ITU-T Study Groups, ITU-R Working Parties and related organizations on final Report of Question 2/2	1B-1	-
63	China	Proposal for preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2012-6 - Economic aspects of spectrum management	1B-2	28
64	China	Proposals for preliminary draft new Report ITU-R SM.[SPEC-AVAILABILITY] - Methodologies for assessing or predicting spectrum availability	1B-2	22 Rev.1
65	China	Proposed reply liaison statement to ITU-D Study Group 1 on Report ITU-R SM.2012	1B-2	31
66	Director, BR	Additional information on the summary of conclusions of the 32nd meeting of the Radiocommunication Advisory Group for the attention of all ITU-R Study Groups and Working Parties	WP 1B	-
67	Brazil	Proposed modification to preliminary draft new Report ITU-R SM.[SPEC-AVAILABILITY] - Methodologies for assessing or predicting spectrum availability	1B-2	22 Rev.1
68	United States	Proposed reply liaison statement to ITU-T Study Group 3 - Creation of new work item on economic and policy aspects of the provision of high-speed Internet connectivity by retail satellite operators	1B-2	32
69	Korea (Rep. of)	Proposed modification to preliminary draft new Report ITU-R SM.[SPEC-AVAILABILITY] - Methodologies for assessing or predicting spectrum availability	1B-2	22 Rev.1
70	Korea (Rep. of)	Guidance to support spectrum use and sharing methodology for private network	1B-2	30, 34
71	Korea (Rep. of)	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[GPR/WPR FREQ] - Spectrum management framework for the introduction of GPR/WPR imaging systems	1B-1	26
72 Rev.1	WP 5B	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B - The On-Tune Rejection (OTR) in Recommendation ITU-R SM.337 and Recommendation ITU-R M.1461	WP 1B	-
73	Japan	Additional modifications to working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2353-0 - Challenges and opportunities for spectrum management resulting from the transition to digital terrestrial television in the UHF bands	1B-2	33
74	Indonesia	Spectrum grid to determine spectrum availability	1B-2	22 Rev.1
75	India	Proposed modification to the preliminary draft new Report ITU-R SM.[SPEC-AVAILABILITY] - Methodologies for assessing or predicting spectrum availability	1B-2	22 Rev.1
76 Rev.1	BR, SG	List of documents issued (Documents 1B/48 - 1B/76)	WP 1B	-
77	Chair, WP 1A	Note to the chair of Working Party 1B - UWB abbreviation and definition for addition to the ITU Terms and Definitions database	1B-1	21 Rev.1
78 Rev.1	Director, BR	Final list of participants - Working Party 1B (Geneva, 11-18 June 2025)	-	-
79	Chair, WP 1B	Report on the third 2023-2027 meeting of Working Party 1B (Geneva, 11-18 June 2025)	-	-

## 4.2 出力文書

1B/ TEMP	担当 WG	表題	入力文書 (1B/)	処理
21 Rev.1	1B-1	Reply liaison statement to the Coordination Committee for Terminology (CCT) (Copy to ITU-T Study Groups 11, 17 and 20 and to ITU-R Working Party 1A for information)	53, 77	LS 文書として発出
22 Rev.1	1B-2	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[SPEC-AVAILABILITY]	48 (Annex 2)、64、67、69、74、75	議長報告に添付 (C/79 Annex 4)
23	1B-1	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1896-1	48(Annex 3)、52	議長報告に添付 (C/79 Annex 1)
24	1B-1	Preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2153-9	48(Annex 4)、52	議長報告に添付 (C/79 Annex 2)
25 Rev.1	1B-1	Note to Working Party 1A on UWB abbreviation and definition for addition to the ITU Terms and Definitions database	53	Note として発出
26	1B-1	Preliminary draft new Report ITU-R SM. [GPR/WPR FREQ]	48(Annex 5)、71	議長報告に添付 (C/79 Annex 3)
27	1B-1	Reply liaison statement to Working Party 5A	51	LS 文書として発出
28	1B-2	Draft revision of Report ITU-R SM.2012-6	48 Rev.1 (Annex 1)、 63	SG1 に上程、承認 (SG1/C/48)
29 Rev.1	1B-1	Report of the meeting of Working Group 1B-1		
30	1B-2	Liaison statement to ITU-R Working Party 5D (Copy to ITU-D Study Group 1 Q4/1 for information)	41、70	LS 文書として発出
31	1B-2	Reply liaison statement to ITU-D Study Group 1 Question 4/1	49、65	LS 文書として発出
32	1B-2	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 3 (Copy to ITU-R Study Groups 1 and 4, and to ITU-R Working Parties 4A, 4C and 1C for information)	35、57、68	LS 文書として発出
33	1B-2	Preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2353-0	59、73	議長報告に添付 (C/79 Annex 5)
34	1B-2	Working document towards a preliminary draft revision of report ITU-R SM.2404-0	41、70	議長報告に添付 (C/79 Annex 6)
35	1B-2	Report of the meeting of Working Group 1B-2		